



希 望 橋

教育目標 豊かな心を持ち たくましく伸びる生徒

電話 0256-86-3007

【前期終業式】生徒の頑張りを称える！

～新人大会・確認テスト表彰と生徒代表による「前期の振り返り」～

さわやかな秋晴れとなった10月10日(金)、本校体育館にて前期終業式を挙行政いたしました。

式典に先立ち、各部活動で活躍を見せた生徒たちへの新人大会の表彰が行われ、日頃の努力が実を結んだ生徒たちが誇らしい表情を見せてくれました。

また、終業式後の学年集会等に先立ち、確認テストで優秀な成績を収めた生徒たちの表彰も合わせて行われました。文武両道で努力を重ねる生徒たちの姿は、全校生徒に良い刺激を与えてくれました。

式典では、校歌斉唱に続き、各学年を代表して3名の生徒が「前期の振り返り」を発表しました。発表に立った3名は、前期の目標に対する取組や、そこから学んだこと、そして後期に向けての抱負を、堂々と、そして熱意をもって全校生徒に伝えました。

発表からは、前期の充実した学校生活の中で、生徒一人ひとりが大きく成長した様子がひしひしと伝わってきました。

以下に、生徒代表が発表した文章の要約をご紹介します。



【生徒代表による「前期の振り返り」】(要約)

1年生代表 ○○○○さん

「前期の頑張りと成果」

私が前期で頑張りと、成長できたことは三つあります。

一つ目は、定期テストへの積極的な取り組みです。中学生になって初めての定期テストでは、良いスタートを切るため、学年委員会として予想問題を作成しました。また、自分なりに計画を立ててワークを進め、苦手な科目は先生に質問に行くなど、主体的に学習に取り組みました。その結果、努力が実を結び、良い成績を収めることができました。

二つ目は、学年委員長としての委員会活動です。委員長として、クラスや学年全体をまとめる役割を果たしました。特に、初めての学年朝会の運営では、当初つまづくこともありましたが、委員会のメンバーと協力し、意見を出し合うことで課題を乗り越え、最後までやり遂げることができました。この経験を通じて、リーダーシップとチームワークの大切さを学ぶことができました。

三つ目は、中学校生活への適応です。新しい環境に戸惑うこともありましたが、友人と積極的に関わり、一つずつ学校生活に慣れるよう努力しました。今では毎日楽しく学校に通っており、充実した日々を送っています。

後期も、前期の経験を活かし、学業と委員会活動にさらに力を入れ、目標達成を目指して積極的に取り組みます。



2 年生代表 ○○○○さん

「目標を超える学習の実現と、継続的な自己管理への決意」

私が前期でやり切ったことと、反省すべき点がそれぞれ一つずつあります。

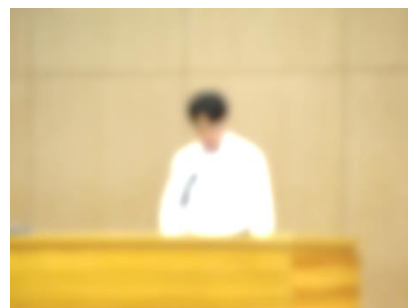
まず、やり切ったことは学習面における目標達成です。

4月に立てたテストの目標点数を、前期中間・期末テストの両方で超えることができました。その要因は二つあります。

一つ目は、間違えた問題の徹底的な復習を毎日継続したことです。これにより、解けない問題を減らすことができ、過去のテストに比べケアレスミスも格段に減らすことができました。今後は、「 $12 \div 2$ を 4 と書く」といった初歩的なミスもゼロにできるよう、学習の基礎をさらに固めていきます。

二つ目は、「過ぎたるは及ばざるが如し」という言葉を胸に、勉強を無理に詰め込み過ぎないバランスを意識したことです。この考え方を学習だけでなくスポーツにも活かし、日々の生活を送りました。

最後に反省すべき点は、早寝早起きができていないことです。遅寝する日もあり、生活リズムを整えられていません。後期は、テストや大会の本番で頭が万全に働くよう、生活リズムの乱れが致命的な結果につながらないように、毎日早寝早起きを実行していきます。



3 年生代表 ○○○○さん

「最上級生としての貢献と、確信した『自分らしい学び方』」

私が前期に力を入れて取り組んだことは三つあります。

一つ目は、修学旅行副実行委員長としての活動です。話し合いやルール説明をする際は、「聞いてもらえる声」を意識しました。三学年の皆が声を掛ければ必ず耳を傾けてくれたおかげで、スムーズに運営でき、協力して成功に導けたことが嬉しかったです。

二つ目は、学年委員長としての仕事です。特に力を入れたのは、最後の体育祭の学年種目です。去年の反省を活かし、皆が楽しめるルールを学年委員で何度も話し合いました。リハーサルでのハプニングを乗り越えてルールを調整した結果、本番では全員がルールを守り、思いっきり楽しむことができました。学年の一体感を強く感じた瞬間でした。

そして三つ目は、受験生としての勉強です。志望校や模試の結果に一喜一憂し、委員会活動との両立は大変でした。しかし、努力を継続した結果、定期テストや実力テストの点数を昨年より上げることができました。この経験から、自分に合った勉強法を見つけることが、成果に直結するという大切な学びを得ました。

後期は、この両立の経験を活かし、引き続き委員会活動や学習に取り組めます。特に、自分の課題を徹底的に見直し、悔いのない中学校生活の締めくくりにしたいです。

